エクセルVBAによる環境騒音マップの作成

Environmental Noise Map by Excel VBA

永田義昭 Yoshiaki NAGATA

キ-ワ-ド:環境騒音、Excel VBA

Key words : environmental noise, Excel VBA

1 はじめに

川崎区内を1500分の1の地図を用いて100m四方に区 切り、100m四方に1箇所の割合で騒音レベルを測定し、 結果をエクセルVBA(以下、VBAという。)を使用し てパソコンで簡単に見ることが出来るプログラムを作成 したので報告する。

2 調査方法

2.1 調査期間

2002年7月から2002年12月

- 2.2 測定場所
- 川崎区内の 829 地点
- 2.3 測定機器

精密騒音計(リわ製 NL-18)

2.4 測定方法

測定時間は9時から12時。測定時間は10分間とし、 結果をLAeqで表示した。

3 VBAの概要

図1にVBAの概要を示す。

図1は、200m四方のメッシュ地図にVBAを使用して データをデータの範囲ごとに色別に表示したものである。 以下に、騒音データの結果をVBAを使用して表示する 方法について述べる。



図1 VBAによる地図データの表示

4 VBAの操作手順

4.1 エクセルファイルが1個のVBAの作成

エクセルファイル(以下、ファイルという。) 1個に地

域メッシュ図を作成する手順について以下に示す。

4.1.1 手書きによる地域メッシュ図の作成

最初に、精緻な地図は描けないが、地域メッシュ図を 手書きで作成する。図2は、川崎市の500m メッシュ地勢 図を手書きで作成したものであるが、各セルは、正方形 で設定されるので手書きでも容易に地図が描ける。



図2 川崎市の 500m メッシュ地図

4.1.2 メッシュ番号とデータの入力

次に、各メッシュに対応したデータを入力する。



図3 メッシュコード、セル位置、データの入力画面

4.1.3 データ貼付けのVBAの作成

図 3 で入力したデータを所定のセル位置に貼り付 くように以下のプログラムを作成する。

Sub	騒音分布()
-----	--------

マクロ記録日	: 2002/9/10
Range("BG34")	= Range("C2")
Range("BG33")	= Range("C3")
Range("BG32")	= Range("C4")
Range("BH32")	= Range("C5")
Range("BG31")	= Range("C6")
Range("BE39")	= Range("C7")
Range("BE38")	= Range("C8")
Range("BF38")	= Range("C9")
Range("BE37")	= Range("C10")
Range("BF37")	= Range("C11")
Range("BE36")	= Range("C12")
Range("BF36")	= Range("C13")
Range("BE33")	= Range("C14")
Range("BF33")	= Range("C15")
Range("BE32")	= Range("C16")
Range("BF32")	= Range("C17")
Range("BE31")	= Range("C18")
Range("BF31")	= Range("C19")
Range("BE30")	= Range("C20")
Range("BF30")	= Range("C21")
Range("BE29")	= Range("C22")
Range("Bc41")	= Range("C23")
Range("BC40")	= Range("C24")
Range("BD40")	= Range("C25")
Range("BC39")	= Range("C26")
Range("BC38")	= Range("C27")
Range("BD39")	= Range("C28")
Range("BD38")	= Range("C29")
Range("BC37")	= Range("C30")
Range("BD37")	= Range("C31")
Range("BC36")	= Range("C32")
Range("BD36")	= Range("C33")
Range("BC35")	= Range("C34")
Range("BD35")	= Range("C35")
Range("BC34")	= Range("C36")
Range("Bd34")	= Range("C37")
Range("Be35")	= Range("C38")
Range("Bf35")	= Range("C39")
Range("Be34")	= Range("C40")
Range("Bf34")	= Range("C41")
Range("BC33")	= Range("C42")
Range("BD33")	= Range("C43")
Range("BC32")	= Range("C44")
Range("BD32")	= Range("C45")
Range("BC31")	= Range("C46")

Range("BD31")	= Range("C47")
Range("BC30")	= Range("C48")
Range("BD30")	= Range("C49")
Range("BC29")	= Range("C50")
Range("BD29")	= Range("C51")
Range("BC28")	= Range("C52")
Range("BA45")	= Range("C53")
Range("BB45")	= Range("C54")
Range("BA44")	= Range("C55")
Range("BB44")	= Range("C56")
Range("BA43")	= Range("C57")
Range("BA42")	= Range("C58")
Range("BA41")	= Range("C59")
Range("BB41")	= Range("C60")
Range("BA40")	= Range("C61")
Range("BR40")	= Range("C62")
Range("BA39")	- Range("C63")
Range ("BB39")	= Range("000")
Range("BA38")	= Range("004")
Range ("BB28")	$= \operatorname{Range}(\operatorname{C66}^{\circ})$
Panga ("PA27")	$= \operatorname{Range}("C67")$
Range ("BP27")	$= \operatorname{Range}(\operatorname{CGP})$
Range ("BA26")	$= \operatorname{Range}(\operatorname{CGO})$
Range (BASO)	$= \operatorname{Range}(\operatorname{Cog})$
Range("BB36")	= Range("C70")
Range("BA35")	= Range("C/1")
Range("BB35")	= Range("C72")
Range("BA34")	= Range("C/3")
Range("BB34")	= Range("C/4")
Range("BA33")	= Range("C/5")
Range("BB33")	= Range("C76")
Range("BA32")	= Range("C77")
Range("BB32")	= Range("C78")
Range("BA31")	= Range("C79")
Range("BB31")	= Range("C80")
Range("BA30")	= Range("C81")
Range("BB30")	= Range("C82")
Range("BA29")	= Range("C83")
Range("BB29")	= Range("C84")
Range("BA28")	= Range("C85")
Range("BB28")	= Range("C86")
Range("AY47")	= Range("C87")
Range("AY46")	= Range("C88")
Range("AZ46")	= Range("C89")
Range("AY45")	= Range("C90")
Range("AZ45")	= Range("C91")
Range("AY44")	= Range("C92")
Range("AZ44")	= Range("C93")
Range("AY43")	= Range("C94")
Range("AZ43")	= Range("C95")
以下 略	
End Sub	

4.1.4 VBAの実行

3.1.3 のプログラムを実行すると、図4に示すよう にメッシュ地勢図の指定されたセルにデータが貼り付 <.



図4 データが貼り付けられた画面

4.1.5 色別に表示するVBAの作成

プログラムを作成する。

Range("BG34") = Range("C2")

Sub 騒音分布()

If myrange.Value >= 70 And myrange.Value Then 次に、図4のデータを色別に表示するには、以下の myrange.Interior.Color = RGB(255, 0, 0) ActiveWindow.DisplayGridlines = True Next

End Sub

図5は、データ範囲と色の組合せを示したもので、 色の組合せは自由に変えることができる。



マクロ記録日 : 2002/9/10 ユーザー名 : 騒音振動



図5 データの範囲と色の関係

4.1.6 色別に表示するVBAの実行

4.1.5 のプログラムを実行すると、図6で示すよう にデータが色別に表示できる。



図6 データの色別表示画面

4.2 複数ファイルを使用するVBAの作成

図7は、地図上にデータを表示させる初期画面を 示したものである。これは、川崎市内の7つの区か ら、地区名を表わすボタンを選択すると、当該地区 の騒音レベルが表示される仕組みである。このプロ グラムの作成について以下に述べる。



図7 地図上にデータを表示させる初期画面

4.2.1 フォルダとファイルの構成

図 8 に、図 7 のプログラムを作成するための V B A の構成図を示す。



複数のフォルダとファイルを組み合わせて作成する。 最初に、パソコンのDドライブに「音環境」という フォルダを作る。さらに、このフォルダの下に川崎 市内の区を表わすフォルダを、各区のフォルダには 区内の地区を収めたファイルを作る。例えば、「川崎 区」を選択すると、図9に示すような川崎区内9地区 を呼び出す画面が表示される。



図9 地区を呼び出す画面

ここから「田島地区」を選択すると、図 10 の画面が 現れ、田島地区の騒音レベルの地図画面が表示され る。



図 10 田島地区の画面

図 10 を拡大した画面を図 11 に示す。

図 11 で希望するマクロボタンを選択すると、結果 が画面上に表示される。

例えば、「田島町」を選択すると、田島町地区の騒 音レベルが騒音レベルに応じて色別に表示される。

また、「測定場所」を選択すると、川崎区内の測定 場所が表示される。

さらに、全地区」を選択すると、図 12 に示すよう に田島町全部の騒音レベルが表示される。



図 11 田島地区を拡大した画面



図 12 田島地区全体の騒音レベルを表示した画面

次に、地区の騒音レベルを表示するには、図 11 の画面で「地区を呼び出す画面に戻る」を選択すると、 図9の地区を呼び出す画面に戻り、他区を選択する。

このように、画面上でマクロボタンを選択するこ とによって、次々と知りたい地区の騒音レベルを表 示させることができる。

以下、ここまでの手順について述べる。

4.2.2 手書きによる地域メッシュ図の作成

4.1.1 で述べた手書きによる地域メッシュ図の作 成と同様な方法で作成する。

図 10 に示した田島地区の地域メッシュ図は、1500 分の1の地図をもとに、100mメッシュで区切ったものをファイル上に手書きで作成したものである。

地図が出来上がったら、セル番号とデータを入力 する。例えば、田島町のセル番号1で区切られた地 域の騒音レベルが62dBだとすると、セル番号1の 100m四方の騒音レベルが62dBと見なす。以下、 図13で示す町名とセル番号とデータを4.1.3の方法 で作成する。

町		名		セル番号		騒音データ	
田	島	町				1	62
田	島	町			:	2	52
田	島	町			:	3	52
田	島	町				4	49
田	島	町			1	5	62
田	島	町				6	47
田	島	町			·	7	57
田	島	町			:	8	47
田	島	町			1	9	50
田	島	町			1 (0	52
田	島	町			1	1	67
田	島	町			1 :	2	60
田	島	町			1 :	3	53
田	島	町			1 -	4	50
田	島	町			1	5	48
田	島	町			1 (6	50
田	島	町			1	7	4 9
鋼	管	通	1 <u>T</u>	目	1 8	8	63
錙	管	通	1 T	目	1 !	9	62
鋼	管	通	1 T	目	2 (0	67
鋼	管	通	1 T	目	2	1	47
鋼	管	通	1 T	目	2 3	2	42
鋼	管	通	1 T	目	2 3	3	57
鋼	管	通	1 T	目	2 -	4	49
鋼	管	通	1 T	目	2	5	49
鋼	管	通	1 T	目	2	6	49
鋼	管	通	1 T	目	2	7	4 5
鋼	管	通	1 T	目	2 8	8	54
鋼	管	通	1 T	目	2 9	9	4 0
鋼	管	通	3 Т	目	3 (0	66
鋼	管	通	3 Т	目	3	1	66
鋼	管	通	3 Т	目	3 :	2	64

図13 町名とセル番号とデータ

4.2.3 データの貼付けと色別表示のVBAの実行

以下のプログラムを実行すると、図 14 で示す「田 島町」の騒音レベルが色別に表示される。

```
Sub 田島町()
MsgBox ("田島町の騒音を表示します。")
Range("W6:BS53").Select
   With Selection.Font
                .Size = 6
           End With
Range("AS7").Select
ActiveWindow.SmallScroll Down:=13
ActiveWindow.SmallScroll ToRight:=2
Range("AG15:AH16,AF17,AE18,AD19")=Range("CC1")
Range("AF17:AH20,AE19:AE20,AD20")=Range("CC2")
Range("AI17:AI20") = Range("CC21")
Range("X27:X28,W28,Z25,Y27:Z28") = Range("CC3")
Range("Y26:Z26") = Range("CC5")
Range("AA25:AD28,AE27:AH28") = Range("CC4")
Range("Y26:AK26") = Range("CC5")
Range("AE21:AH25") = Range("CC6")
Range("AC21:AD24,AB22:AB24,AA23:AA24")=Range("
CC7")
Range("A125:AK25,A127:AK28,AL27:AL28")=Range("
CC8")
Range("AI21:AJ24,AK24") = Range("CC9")
Range("W29,X29:X30,Y31,Z31:Z32")=Range("CC10")
Range("AA33:AD33,AD34:AF34,AG35:AH35")=Range("
CC11")
```

```
Range("AE33:AH33,AG34:AH34") = Range("CC12")
Range("AE29:AH32") = Range("CC13")
Range("Y29:AD30,AA31:AD32") = Range("CC14")
Range("AM33:AN34") = Range("CC15")
Range("A129:AL32") = Range("CC16")
Range("AM29:AM32") = Range("CC29")
Range("A133:AL35") = Range("CC17")
```

Dim myRange As Range For Each myRange In Worksheets(1).Range("W6:BS53") If myRange.Value < 45 And myRange.Value > 0 Then myRange.Interior.Color = RGB(100, 255, 0) If myRange.Value < 50 And myRange.Value >= 45 Then myRange.Interior.Color = RGB(200, 255, 150)If myRange.Value < 55 And myRange.Value >= 50 Then myRange.Interior.Color = RGB(255, 255, 200)If myRange.Value < 60 And myRange.Value >= 55 Then myRange.Interior.Color = RGB(255, 255, 0)If myRange.Value < 65 And myRange.Value >= 60 Then myRange.Interior.Color = RGB(255, 150, 0)If myRange.Value < 70 And myRange.Value >= 65 Then myRange.Interior.Color = RGB(255, 100, 100) If myRange.Value >= 70 Then myRange.Interior.Color = RGB(255, 0, 0) Next End Sub



この方法で、川崎区内のプログラムを作成する。 VBAを実行して全ての地区について、地区全体 の騒音レベルをデータに代って色別で表示した結果 を図15~図22に示す。



図 15 桜本地区全体の騒音レベルを表示した画面



図 16 観音地区全体の騒音レベルを表示した画面



図 17 大師地区全体の騒音レベルを表示した画面



図 18 中島地区全体の騒音レベルを表示した画面



図 19 大島地区全体の騒音レベルを表示した画面



図 20 京町地区全体の騒音レベルを表示した画面







4.2.4 ファイル操作のVBA

マクロボタンを使用してフォルダを開きフォルダ 内の複数のファイルを開くプログラムについて述べ る。

4.2.4.1 ファイルからフォルダを呼び出すVBA 「音環境」のフォルダを開くと、図23に示す画面 が現れる。



図 23 「音環境」のフォルダを開いた時の画面

この画面から、ファイルの「区を呼び出すファイ ル」を開き、「マクロを実行する」を選択すると、図 7 の「地図上にデータを表示させる初期画面」が現 れるので呼び出したい地区を選択する。ここでは、

「川崎区」を呼び出す例について述べる、他の地区 についても「川崎区」を呼び出すと同様な操作にな る。

図7の画面から「川崎区」のマクロボタンを選択 するVBAは、以下のとおりである。

Sub 川崎区() F = ThisWorkbook.Path MsgBox "川崎区を呼び出します。" Application.DisplayFullScreen = True Op = F & "¥" & "川崎区" MsgBox Op Workbooks.Open Filename:=Op & "¥" & "川崎区 内を呼び出す.xls" Workbooks("区を呼び出すファイル.xls"). Close False F = "" Op = "" End Sub 上のプログラムを実行すると、川崎区内の「地区」 を呼び出す画面 (図9参照)が表示される。この後 は、画面からデータを知りたい地区のマクロボタン を選択する。

例えば、「田島地区」を選択すると、田島地区の画 面(図10参照)が表示される。このVBAは、以下 のとおりである。

Sub 田島地区() MsgBox ("田島地区の騒音を示します。") SOp = ThisWorkbook.Path MsgBox SOp Workbooks.Open Filename:=SOp & "¥" & "田島地 区.xls" SOp = "" End Sub

Sub データ消去() MsgBox ("データを消去します。") Range("W6:BS53").Select Selection.ClearContents Range("T1").Select End Sub

Sub 色の消去() MsgBox ("色を消去します。") With Range("W6:BS53").Select End With Selection.Interior.ColorIndex = xINone Range("A01").Select End Sub

4.2.4.2 初期画面を呼び出す VBA

マクロボタンの「地区を呼び出す画面に戻る」を 選択すると図9の地区を呼び出す画面に戻る。この プログラムは、以下のとおりである。

Sub 地区を呼び出す画面に戻る() MsgBox ("地区を呼び出す画面に戻ります。") SOp = ThisWorkbook.Path MsgBox SOp Workbooks.Open Filename:=SOp & "¥" & "川崎区内 を呼び出す.xls" Workbooks("田島地区.xls").Close False End Sub また、図7の初期画面に戻るプログラムは、以下 のとおりである。

Sub 区を呼び出すに戻る() MsgBox ("区を呼び出す画面に戻ります。") F = ThisWorkbook.Path FB = Left(F, InStrRev(F, "¥", -1, 1) - 1) MsgBox (FB) ChDir ("..") Workbooks.Open Filename:=FB & "¥" & "区を呼び出 すファイル.xls" Workbooks("川崎区内を呼び出す.xls").Close False F = "" FB = "" End Sub

最後に、図7の初期画面を表示するファイルで「閉 じる」というマクロボタンを選択すると、図23の「音 環境」のフォルダを開いた時の画面に戻り、全ての フォルダ、ファイルが閉じられる。プログラムは、 以下のとおりである。

Sub 閉じる() MsgBox ("区を呼び出す画面を閉じます。") Dim Wk As Workbook For Each Wk In Workbooks Next Wk Application.Quit Application.DisplayFullScreen = False End Sub

5 エクセル VBAによるマップの応用性

3で作成したVBAは、騒音データ以外の他の測 定値、画像、図形などに置き換えて利用することが できる。

画像、複雑な図形などはデータ容量が大きいとマ クロ実行時にメモリを著しく使用するため、メモリ に余裕がないと画面上への表示に時間がかかる。ま た、「メモリ不足」というメッセージが現れることも がある。

6 まとめ

エクセルVBAを使用して環境騒音マップを作成 した結果、次のようなことがわかった。

- パソコンの画面からパネルタッチ方式で調べたい地区の騒音レベルが表示できたこと。
- 2) 騒音レベルが大小に応じて色別に表示され、視覚的にわかりやすい結果が得られたこと。
- 3) 今回作成した V B A は、騒音データ以外のデー タにも応用できること。